

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-154	A-169	20-401	佐賀県医療センター好生館 角南隆史 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 松下幸生
題名（原題／訳）			
COVID-19 and addiction COVID-19 とアディクション			
執筆者			
Dubey MJ, Ghosh R, Chatterjee S, Biswas P, Chatterjee S, Dubey S.			
掲載誌			
Diabetes Metab Syndr. 2020 Sep-Oct;14(5):817-823. doi: 10.1016/j.dsx.2020.06.008. Epub 2020 Jun 9.			
キーワード			PMID
アディクション、アルコール、行動嗜癖、新型コロナウイルス感染症、インターネット、オピオイド、パンデミック、タバコ			32540735
要 旨			
背景と目的：			
2019 の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、全人類に計り知れない心理社会的影響を与えている。疎外されたコミュニティ、特に物質使用障害（SUD）を持つ人々は、感染症に感染しやすいだけでなく、より大きな心理社会的負担を被る可能性が高い。本論文では、COVID-19 と依存症との複雑な双方向の関係を分析した。			
方法：			
方法は以下の通り。Pubmed と Google Scholar を用いて、“COVID-19”，“SARS-CoV2”，“Pandemic”，“Addiction”，“Opioid”，“Alcohol”，“Smoking”，“Addiction Psychiatry”，“Deaddiction”，“Substance use disorders”，“Behavioral addiction”をキーワードに検索した。COVID-19 と依存症に関連する新聞記事も文脈に合わせて追加した。			
結果：			
SUD を持つ人は COVID-19 の転帰が悪化するリスクが高い。この時期には、行動嗜癖を含む嗜癖（新規と再発の両方）が急増している。また、離脱症状による死亡の報告も増えている。嗜癖を持つ者は特に医療サービスへのアクセスが困難であり、違法な手段で薬物を調達しがちである。			
結論：			
COVID-19 と嗜癖は、大きな公衆衛生上の脅威を引き起こす衝突の危機に瀕している 2 つのパンデミックである。COVID-19 の予後に対する SUD の有害な影響を国民に認識させるためにあらゆる努力をしなければならないが、嗜癖の治療サービスの再開と治療薬が容易に入手できることが喫緊のニーズである。			